

雨をよぶ、かわいい踊り子さんたち



▲お囃子にあわせて、ぐるぐると舞い歩く姿は花のように可憐



▲銭太鼓が退場すると、えんちょ獅子の舞がはじまる。中学生も獅子やお囃子に参加している。



▲愛らしい踊り手たちは、現在小学校2～5年生の女の子。太鼓の巴模様は魔除けの意味ともいわれる。(写真はすべてH27 鬼みちまつりで撮影)

ぜんだいこ 銭太鼓

牡丹の花笠をかぶり、手には鈴のついた紙張りの太鼓、たすき掛けの色も鮮やかに少女たちが踊り歩く「銭太鼓」。たかはまでは「ぜんだいこ」と読み、昔は太鼓に硬貨(銭)をつけて音を出していたそう。市で江戸時代から続く「えんちょ獅子」(県指定無形民俗文化財)とあわせ、雨乞いや降雨のお礼として奉納されていた伝統芸能である。

一時、たかはまでは踊り手が激減してしまったというが、保護者が誘いあって、今は15人ほどに盛り返した。「女の子ですから、かわいい衣装が着られるのも嬉しいみたいですよ。」と、銭太鼓の世話役代表の加藤千夏さん(沢渡町)。5年生の娘さんが参加している。「もちろん、楽しいだけではなく、中学生といっしょに保存会の方の指導をうけるなかで、まちの大切な伝統芸能を演じるという意識が子どもなりに育ちました。地域のことに参加できていい経験を積んでいると思います。」とも語ってくれた。「とても素敵な伝統だから、仲間を増やして、つないでいきたいですね。」というお母さんたちの声に、えんちょ獅子保存会の野口正健さんも「次世代に伝統を引き継ぐのが難しい時代に、お母さんたちのネットワークは心強いです。」と嬉しそうだ。

今年も、一生懸命に舞う、かわいい踊り子さんたちに会えるのを
お楽しみに。

“撮っておき” の たかはま 【第61回】

「ひと」「もの」「文化」などなど、有形・無形を問わず、高浜市の日常の暮らしの中にあるとっておきの「お宝」を紹介します。

LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語のページを読んでください!(20ページ)

広報たかはま
編集・発行/高浜市役所総合政策グループ

〒444-1398 愛知県高浜市青木町四丁目1番地2
TEL (0566) 52-1111 FAX (0566) 52-1110
<http://www.city.takahama.lg.jp/>
電子メール info@city.takahama.lg.jp

早期配布にご協力ください。